

第 8 便

関東 志士の会 開催

6月28日（日曜日）13：00から、関東 志士の会 が 25名の参加者を集め開催された。
遠く北海道から西園君、関西から田中(義一) 君、静岡から脇さんの参加もあり、
大幹事 三宅君のお陰で、盛大で楽しい3時間を過ごした。珍しく、三宅君の奥さんも
参加された。

まずは、三宅幹事開会のコメントに始まった、楽しそうな会場風景を写真で紹介する。
会話がどれだけ弾んだかが、画像から見えてくると思う。





暫くの歓談の後、皆から近況報告があった。病気、旅行、世情、家族、仕事、色々な報告がなされ、皆、神妙な顔で聞き入っていた。この歳になると、久しぶりに会った同級生の近況が、身につまされる事も有るのかも知れない。特に病気や手術の話など、皆静かに聞いていたのが印象に残った。

話の中で、博多弁（九州弁）の話も出た。

1. 先日の大雨で、田川の住宅が陥没した大穴に落ち込んだニュースで、近所の人が
「驚いたばい、見たら 大きな穴が（ほがっとして）、その中に家が落ち込んだるとよ！」
※この 穴をほがす！という言葉は 何十年ぶりに聞いたような気がして、懐かしかった！
今の博多の若い人は、この言葉を分かるんやろうか？？
2. この志士の会の当日は、雨模様という予報もあって、「しろしかね～～！」と思うとった！
3. ものすごく以前の 関東はるみの会の時、皆が挨拶したら、河合さんが
「皆、何で艶～に東京弁ばしゃべっとーとね？なんでこげな時は、博多弁で話さんとね？」
と言った、思い出話！（最近河合さんも東京弁ば、しゃべっとうごとあるばってん（笑））

等々、懐かしい博多弁の話でひと時を過ごした。

海外旅行の報告も幾つかなされて、アメリカやヨーロッパ旅行の話を聞いて
21 回生の、未だ衰えぬバイタリティーに感心された。

余計な事と思われるかも知れないが、久し振りに皆の顔写真を小さく載せておく。
白髪も増えたが、よく見ると依然とあまり変わってない印象がある、それも嬉しかった。
個人情報問題も有るので、個々の名前は載せない。元気そうな顔ばかりだ！





3 時間もあっという間に過ぎてしまった。

会場は個室のようなところなので、大声も良いようで、

三宅幹事の提案で、校歌の代わりに、「高校三年生」を歌う事になって、なんとなく覚えている歌詞で全員で歌った。歌詞の変更要求があり、「高校三年生」のところを

「筑高三年生」として歌った。こんな経験は初めてだった。

最後の締めで、いつもは編集者が応援団の代わりにフレーフレ筑高！一の「エール」をやるのだが、当の応援団 川島君がいるので、当然ながら彼にお願いして最後は大声の「エール」で閉めた。

別れが惜しいが、皆で全員写真を撮り、お開きにした。



福岡は最後の同窓会を決めたが、関東は志士の会も筑志会も次回が決まっている。

福岡の歩こう会に負けぬように、頑張って「集まり」を続けようと思う。病気や手術後で参加出来ない人も何人かいたが、皆、体調を整えて、次回は参加する！と言ってくれている。

次回も皆元気で会おう！